



自衛隊栃木地方協力本部

自衛官候補生の母校訪問を支援

自衛隊栃木地方協力本部宇都宮募集案内所（所長 古川 3 陸佐）は5月2日（木）作新学院高等学校情報科学部を3月に卒業し、東部方面特科連隊第2大隊教育隊（宇都宮）へ入隊している自衛官候補生、つのだひゅうが角田彪雅、たむらたくみ田村拓巳、たかしま ゆいと高嶋友翔の3名の母校訪問を支援した。

母校訪問では就職指導委員長の猪瀬教諭と副委員長の齋藤教諭、担任教諭に迎えてもらい懇談を行った。各候補生は入隊後の生活などを話し、「教育隊での訓練はきついくともあるけれど同期との一体感があり充実した生活を過ごしています」と報告していた。田村候補生は音楽隊（パークシジョン）への入隊が決まっております、担任教諭から夢を叶えた先輩として高校入学案内パンフレットに是非載せたいと要望されていた。角田候補生は「長年続けてきた柔道の経験を活かしたい」と語り、高嶋候補生は「自分の兄も陸上自衛官であり家族も応援してくれているので頑張ります」と笑顔で語っていた。先生方は「カッコイイ！制服がとても似合っているよ」「すぐ立派になったね！」「会いに来てくれて嬉しい！」と2か月前に卒業した教え子の勇姿に感動していた。

宇都宮募集案内所は、「今後も、自衛隊への理解を深めるため、学校や入隊した隊員と連携を密にし、確固たる信頼関係を築き募集広報業務に邁進していく」としている。

市内の商業施設「フェドラP&D佐野」で市街地広報を実施

自衛隊栃木地方協力本部足利地域事務所（所長 本村1空尉）は、5月11日（土）「フェドラP&D佐野」にて市街地広報を実施した。

「フェドラP&D佐野」は、イオンモール佐野新都市と、佐野プレミアムアウトレットの間に位置し、1階にミュージアムズメントやゲームセンター、2階に映画館を有する施設で、市街地広報は1階のロビーで行った。

当日は風もなく快晴だったこともあり、多くの親子連れや学生たちが施設を利用していた。自衛官募集ティッシュを配布していると、同封した募集チラシや併せて配布した栃木地本主催のイベント「自衛隊グリーンフェスタ2024」のチラシを見ながら「自衛隊のイベントですか？面白そうですね」と話す人や、「かっこいい！」と目を輝かせる子供で賑わいをみせた。自衛隊について多くの若者にPRするとともに、フェドラの職員の方も様子を見に来られ、好印象を得ることが出来た。

足利地域事務所は「今後も、イベント等を活用し、市民の皆様にも、自衛隊が身近な存在であることをアピールする」としている。



自衛隊に興味を示す親子



学生に募集ティッシュを渡す広報官